



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 天昇電気工業株式会社  
コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

(氏名) 石川 忠彦  
(氏名) 横山 彰

TEL 042-788-1880

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,438	△0.1	104	3.5	103	84.1	108	195.6
27年3月期第1四半期	3,442	11.5	101	152.7	56	109.8	36	99.0

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 112百万円 (305.3%) 27年3月期第1四半期 27百万円 (△74.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	6.57	6.52
27年3月期第1四半期	2.23	2.21

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	15,435	3,350	21.6	202.08
27年3月期	16,032	3,237	20.1	195.34

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 3,338百万円 27年3月期 3,226百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	0.4	95	△22.4	25	△71.6	5	△92.3	0.30
通期	14,600	2.7	335	24.8	195	△28.1	140	△2.4	8.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	17,014,000 株	27年3月期	17,014,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	492,276 株	27年3月期	499,276 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	16,519,581 株	27年3月期1Q	16,482,013 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策などを背景に円安が継続し、設備投資や個人消費は持ち直しの兆しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。海外では、中国経済の減速傾向がみられるものの、米国経済は雇用環境の改善等により安定的に伸長したこと等により堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは国内の販売強化とともに生産現場の効率化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高につきましては、当社受注車種の端境期にあたること、また、物流産業資材関係も国内需要に伸びがみられなかったこと等の結果、34億38百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

損益につきましては、生産現場での材料効率改善及び経費の徹底的な削減等による原価低減の効果により、営業利益は1億4百万円（前年同四半期比3.5%増）、経常利益は1億3百万円（前年同四半期比84.1%増）、特別利益に固定資産売却益25百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億8百万円（前年同四半期比195.6%増）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

## 日本成形関連事業

自動車部品及び物流産業資材関係の売上高は前年同四半期比同水準で推移しております。

この結果、売上高は32億11百万円（前年同四半期比0.6%減）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

## 中国成形関連事業

中国国内では、物流産業資材関係を中心としております。売上高は若干回復が見られたものの1億21百万円（前年同四半期比15.7%増）、セグメント損失は7百万円（前年同四半期は16百万円の損失）となりました。

## 不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。

売上高は1億5百万円（前年同四半期は1億5百万円）、セグメント利益は81百万円（前年同四半期比1.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、154億35百万円（前連結会計年度末比5億97百万円減）となりました。

流動資産は、現金及び預金が27億58百万円（前連結会計年度末比3億25百万円減）、受取手形及び売掛金が26億18百万円（前連結会計年度末比1億27百万円減）となったこと等により、70億5百万円（前連結会計年度末比3億57百万円減）となりました。

固定資産は、生産設備投資及び減価償却実施等により、84億30百万円（前連結会計年度末比2億39百万円減）となりました。

## ②負債

負債合計は、120億85百万円（前連結会計年度末比7億9百万円減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が35億51百万円（前連結会計年度末比37百万円減）、借入金21億84百万円（前連結会計年度末比5億86百万円減）等により、68億88百万円（前連結会計年度末比8億66百万円減）となりました。

固定負債は、借入金44億73百万円（前連結会計年度末比1億79百万円増）等により51億97百万円（前連結会計年度末比1億56百万円増）となりました。

## ③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の変動等により、33億50百万円（前連結会計年度末比1億12百万円増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績につきましては、平成27年5月15日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,084	2,758
受取手形及び売掛金	2,745	2,618
電子記録債権	550	561
製品	364	423
原材料	357	399
仕掛品	48	41
その他	211	201
流動資産合計	7,363	7,005
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,291	2,250
土地	2,610	2,610
その他(純額)	1,455	1,433
有形固定資産合計	6,357	6,295
無形固定資産	14	16
投資その他の資産		
投資有価証券	2,120	1,946
その他	202	198
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	2,297	2,118
固定資産合計	8,669	8,430
資産合計	16,032	15,435
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,588	3,551
短期借入金	850	320
1年内返済予定の長期借入金	1,920	1,864
未払法人税等	24	25
賞与引当金	116	59
その他	1,253	1,068
流動負債合計	7,754	6,888
固定負債		
長期借入金	4,293	4,473
資産除去債務	37	37
その他	709	686
固定負債合計	5,040	5,197
負債合計	12,794	12,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	952	1,060
自己株式	△50	△50
株主資本合計	3,008	3,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177	178
繰延ヘッジ損益	△16	△16
為替換算調整勘定	57	59
その他の包括利益累計額合計	218	221
新株予約権	11	11
純資産合計	3,237	3,350
負債純資産合計	16,032	15,435

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,442	3,438
売上原価	2,880	2,837
売上総利益	562	601
販売費及び一般管理費	460	496
営業利益	101	104
営業外収益		
受取利息	8	0
受取配当金	2	3
為替差益	—	18
スクラップ売却益	5	2
持分法による投資利益	—	4
その他	8	1
営業外収益合計	24	30
営業外費用		
支払利息	40	31
為替差損	18	—
持分法による投資損失	10	—
その他	0	0
営業外費用合計	70	32
経常利益	56	103
特別利益		
固定資産売却益	—	25
特別利益合計	—	25
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	14	—
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益	41	128
法人税等	4	19
四半期純利益	36	108
親会社株主に帰属する四半期純利益	36	108

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	36	108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△11	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	2	2
その他の包括利益合計	△9	3
四半期包括利益	27	112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27	112
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,232	104	105	3,442	—	3,442
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	21	—	21	△21	—
計	3,232	125	105	3,463	△21	3,442
セグメント利益又は損失(△)	37	△16	80	101	—	101

(注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去21百万円であります。

2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,211	121	105	3,438	—	3,438
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	20	—	20	△20	—
計	3,211	142	105	3,459	△20	3,438
セグメント利益又は損失(△)	30	△7	81	104	—	104

(注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去20百万円であります。

2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。